

## 第二回人文知応援大会 大会宣言

2022年3月12日

人類の知的好奇心は、古来、宇宙の真理、自然や生命の摂理を探求すると共に、人間の生き方と社会のあるべき姿を追求してきた。科学<sup>1)</sup>はその多様な成果の集積であり、文化芸術はその多様な表現の結晶である。これらは「人はどう生きるべきか」という究極の問への回答に導いてくれる。それをわれわれは「人文知」と呼ぶ。これは総体として初めて真の価値をもつもので、分割—例えば文系と理系の分割—したり、その一部（専門知）のみを取り出すことは、本来の価値を大きく減ずることになる。

しかし現代は熾烈なグローバル競争の下で、権力拡大や経済成長の短期的成果を追求する流れが加速し、知識とデータが偏重され、思考とそこから生まれる知恵が軽視され、価値観が揺らいでいる。全体を見ることよりも眼前の目的達成に役立つ手段たるテクノロジーと効率が最優先され、それが社会の隅々に行き渡っている。

先行き不透明な今を乗り切るためには、自然との関係を破壊から共生へ、人類社会を分裂から連帯へ、人々の心を閉塞感から希望へと転換するに必要な価値観の再構築をしなければならない。それには教育と研究の現場に、自由で誠実な「人文知」の探究を促す環境を取り戻し、そこに十分な社会的資源を投入することが急務であることを社会に訴えるものである。

---

1. 自然科学・社会科学・人文科学のすべてを含む

### 【付帯決議】

「人文知応援フォーラム」は、ロシアによるウクライナ侵攻とそれがもたらしつつある恐るべき結果が、先人が歴史的に蓄積してきた「人文知」を蔑（ないがし）ろにし、人間の尊厳を著しく傷つけるものであることを深く憂い、世界の心ある市民・組織と連帯して、一日も早く尊厳ある平和が確立されることを希求する。